

建築プロジェクトの当事者参画推進セミナー2025

ご案内（確定版）

開催趣旨：

東京 2020 オリパラ大会の施設整備で本格化した当事者参画によるバリアフリー化の動きの中で、東京都福祉局は 2024 年 3 月「当事者参画で進めるユニバーサルデザインの施設づくり」を、国交省住宅局は 2025 年 6 月「建築プロジェクトの当事者参画のガイドライン」を発出しました。国交省は同時に 2030 年度時点の都道府県・政令市等の公共特別特定建築物の設計段階での当事者参画を 100%とする目標を掲げました。

当事者参画を推進するために何より重要なのは、関わる人材（当事者、設計者、研究者、行政）の確保です。そこで、本セミナーでは、建築プロジェクトにおける当事者参画の意義と目的を理解し、全国の当事者参画を推進する人材確保・研修を目的としています。本セミナーを通して、私どもでは「建築プロジェクトの当事者参画プラットフォーム（TOJISHA-UD）」（日本建築士連合会、DPI 日本会議、日本視覚障害者連合、日本福祉のまちづくり学会）を構築し、当事者参画に関わる全国各地の皆さんからの相談事業を展開する予定です。

主催：日本福祉のまちづくり学会「当事者参画と UD 評価特別研究委員会」

共催：日本建築士会連合会、東京建築士会、DPI 日本会議、日本視覚障害者団体連合

後援：国土交通省、文部科学省、東京都（予定）

期日：2025 年 12 月 23 日（火）13：30～16：30

会場：ZOOM ウェビナー＋会場 50 名（東京建築士会）東京都中央区日本橋富沢町 11-1
富沢町 111 ビル 5 階

セミナー内容：

13：30 開会 総合司会：菅原麻衣子（日本福祉のまちづくり学会、東洋大学）

挨拶：杉野友香（国土交通省住宅局建築指導課）

小野田吉純（日本建築士会連合会）

1. 開催趣旨と当事者参画プラットフォーム（TOJISHA-UD）構想

高橋儀平（日本福祉のまちづくり学会当事者参画と UD 評価特別研究委員会）

2. 建築プロジェクトの当事者参画への期待と意義

①佐藤 聡（DPI 日本会議）

②渡部安世（全日本難聴者・中途失聴者団体連合会）

③三宅 隆（日本視覚障害者団体連合）

④川口孝男（日本建築士会連合会まちづくり委員会福祉のまちづくり部会）

3. 解説：国交省「建築プロジェクトの当事者参画ガイドライン」

杉野友香

〈休憩〉15 分

4. 当事者参画設計好事例を学ぶ

・当事者が経験した当事者参画事例

①工藤登志子（DPI 日本会議）

②逢坂 忠（日本視覚障害者団体連合）

・設計者が経験した当事者参画事例・建築士としての関わり方

③石井隆司（愛知建築士会）、松橋雅子（秋田県建築士会）

④高橋秀通（日建設計）

・行政が経験した当事者参画事例

⑤坪井正幸（水戸市役所）

⑥小川侑太（府中市役所）

5. 討論と事前質問への回答（参加申し込み後に質問フォームを送信）

進行：高橋儀平

16：25 閉会挨拶 佐藤克志（日本福祉のまちづくり学会：日本女子大学）

お知らせ 菅原麻衣子

16：30 閉会

情報保障：字幕＋手話通訳配信、車椅子使用者で会場参加の方はお知らせください。

CPD 認定講座（3 単位）：希望者は CPD 番号と名前を申込先までお知らせ下さい。当日ご参加
いただく際は、Zoom ウェビナーの表示名を CPD 番号+名前に変更しご参加ください。

資料代：主催・共催団体会員 2,000 円、非会員 3,000 円、学生 1,000 円、

資料は事前にメール配信します。

申込先：https://eventregist.com/e/TOJISHA-UD_2025 からお願いします。

申込締切：12 月 15 日（火）

〔セミナー問い合わせ〕 tojisha.semi@gmail.com

〔ご案内〕当事者参画プラットフォーム「TOJISHA-UD」へのご相談は下記までお願いします。

tojisha.ud@gmail.com

建築プロジェクトの

当事者参画推進

TOJISHA-UD

セミナー 2025

2025

12

23

13:30

16:30

@Zoom ウェビナー+会場 50 名

(東京建築士会) 東京都中央区日本橋富沢町 11-
富沢町 111 ビル 5 階

主催 日本福祉のまちづくり学会「当事者参画と UD 評価特別研究委員会」
共催 日本建築士会連合会、東京建築士会、DPI 日本会議、日本視覚障害者団体連合
後援 国土交通省、文部科学省、東京都（予定）

開催趣旨

東京 2020 オリパラ大会以降のバリアフリー政策の動きの中で、東京都福祉局は 2024 年 3 月「当事者参画で進めるユニバーサルデザインの施設づくり」を、国交省住宅局は 2025 年 6 月「建築プロジェクトの当事者参画のガイドライン」を発出しました。国は 2030 年度時点で都道府県・政令市等の公共特別特定建築物の設計で当事者参画を 100%とする目標を立てています。本セミナーの目的は、建築プロジェクトの当事者参画の意義を理解し、当事者参画を推進する人材の確保です。今後、私どもでは「建築プロジェクトの当事者参画プラットフォーム (TOJISHA-UD)」を構築し、全国各地の皆さんからの相談事業を展開します。セミナーへの多くの皆様のご参加をお待ちしています。

セミナー内容

総司会：菅原麻衣子（日本福祉のまちづくり学会、東洋大学）

13:30 開会

挨拶

杉野友香（国土交通省住宅局建築指導課）
小野田吉純（日本建築士会連合会）

セミナー開催趣旨と当事者参画プラットフォーム (TOJISHA-UD) 構想

高橋儀平
(TOJISHA-UD プラットフォーム、日本福祉のまちづくり学会当事者参画と UD 評価特別研究委員会委員長)

建築プロジェクトの当事者参画への期待と意義

- ① 佐藤聡 (DPI 日本会議)
- ② 渡部安世 (全日本難聴者・中途失聴者団体連合会)
- ③ 三宅隆 (日本視覚障害者団体連合)
- ④ 川口孝男 (日本建築士会連合会まちづくり委員会福祉まちづくり部会)

解説：国交省「建築プロジェクトの当事者参画ガイドライン」

杉野友香

〈休憩〉15 分

当事者参画設計好事例を学ぶー当事者・設計者・行政それぞれの立場から

当事者

- ① 工藤登志子 (DPI 日本会議)
- ② 逢坂忠 (日本視覚障害者団体連合)

設計者

- ③ 石井隆司 (愛知建築士会)
- 松橋雅子 (秋田県建築士会)
- ④ 高橋秀通 (日建設)

行政

- ⑤ 坪井正幸 (水戸市政策企画課)
- ⑥ 小川侑太 (府中市総務管理部新庁舎建設推進室)

討論と質疑

進行：高橋儀平

閉会挨拶・お知らせ

佐藤克志 (日本福祉のまちづくり学会、日本女子大学)
お知らせ：菅原麻衣子

16:30 閉会

情報保障

文字要約筆記+手話通訳
車椅子使用者で会場参加の方は
お知らせ下さい。

CPD 認定講座 (3 単位)

希望者は CPD 番号と名前を申込先まで
お知らせ下さい。
また、当日ウェビナーにご参加
いただく際は、Zoom の表示名を
CPD 番号+名前に変更しご参加下さい。

資料代

主催共催団体会員：2000 円
非会員：3000 円、学生：1000 円
資料はメール配信

申込先

https://eventregist.com/e/TOJISHA-UD_2025 からお願いします。
申込締切：12 月 15 日 (火)

〔セミナー問い合わせ〕tojisha.semi@gmail.com

〔ご案内〕当事者参画プラットフォーム「TOJISHA-UD」へのご相談は下記までお願いします。
tojisha.ud@gmail.com



参加 QR コード▶